

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R101	教育原理	1年	講義	2	遠藤忠
授業概要 教育の本質及び基本的機能の解明を踏まえ、教育の思想と歴史、近代学校制度の成立と展開、さらに、現代の学校教育の目的・内容・方法・制度に関する理論と実際について講義する。					
到達目標(学習の成果) 教育と学習・発達・人間形成の関係を理解し、教育の理念ならびに教育に関する思想と制度の歴史を概観し、現代教育の諸問題を考える上で前提となる教育学の基礎的概念を整理し、教育について明晰に考える力を身につける。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	教育とは何か	教育とは何か。本授業ではこの問題にどのように迫るか、すなわち授業の全体構成について概説する。			
2	1.教育目的について①	近代日本の国家的教育目的の変遷をたどり、現代の公教育の理念、目的について明らかにする。			
3	1.教育目的について②	①明治維新と学制序文の教育観			
4	1.教育目的について③	②大日本帝国憲法と教育勅語の教育観			
5	1.教育目的について④	③日本国憲法と教育基本法の教育観			
6	2.生涯学習社会①	経済社会の進展の中で生涯学習社会づくりが目指されている。それはいかなる理由で、どのような姿の教育体制が作られつつあるのか。 ①学校系統の姿。			
7	2.生涯学習社会②	②職業訓練機関の姿。			
8	2.生涯学習社会③	③社会教育機関の姿。			
9	2.生涯学習社会④	④生涯学習社会の背景。			
10	3.教育の歴史①	①人類の歴史と教育—未開社会及伝統社会における教育の姿。			
11	3.教育の歴史②	②国家の形成と学校の誕生—古代における高等教育機関の組織。			
12	3.教育の歴史③	③学校の発展—近代的大学の成立と義務教育の誕生。			
13	3.教育の歴史④	④日本の近代教育の誕生:近世から近代への変化の本質を捉える。江戸と明治の違い。			
14	教于育目的と教育課程	現代公教育の目的を実現するために、日本の学校教育では何が教え育まれようとしているのか。現代日本の学校教育における教育課程の構造について考察する。			
15	現代教育の課題	日本の教育の成果と課題について考える。			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1.課された自習課題に取り組み授業に臨むこと。
- 2.授業時に取り上げた専門用語等については、参考書及びその他の専門書を通して理解を深めておくこと。
- 3.授業中に積極的に質問等ができるように準備しておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

レポート(小レポートを含む) 70%、授業中における学習態度 30%で総合的に評価する。分からないこと気づいたことについて遠慮なく、率直に質問することを歓迎する。

教科書

新井保幸編著『教育基礎学』培風館

参考書等

教育関係法令集

(学陽書房『教育小六法』、その他、第一法規、ぎょうせい、三省堂、協同出版等で同種の図書が出版されている)。

履修上の注意・学修支援

毎時の講義テーマを確認し、問題意識を持って受講すること。

質問等訊きたいことがあれば、授業担当まで早めに相談すること(endo@kyowa-u.ac.jp)。